

2025  
第81号  
NUKUMORI

# ぬくもり



種  
賀  
新  
年



# 新年のご挨拶

社会福祉法人ともいき福祉会  
理事長  
栗原 正寛



明けましておめでとうございます。  
皆様方におかれましては令和7年の初春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。また、より良き一年になりますようご祈念申し上げます。

旧年中はご利用者の皆様、ご家族の皆様には法人運営及び施設運営にご理解、ご協力を賜りまして誠にありがとうございました。地域の皆様方、取引先の皆様方にも様々な形でのご支援、ご協力を賜りましたこと感謝申し上げます。ここにあらためて厚く御礼申し上げます。

さて超高齢化社会の日本、介護業界は2025年に大きな分岐点になると予想されています。その理由は「団塊の世代」が後期高齢者になり社会保障費の増加や働き手不足などの社会問題が懸念されているからです。

「2025年問題」が介護業界に及ぼす大きな影響は人材不足の深刻化です。2025年以降に介護需要は増大すると見られている一方で、その需要をカバーするために必要となる人材は不足すると予想されているからです。

2025年認知症高齢者数は675万人となり、65歳以上の5.4人に1人が認知症患者になると予想されます。更には65歳以上の単独世帯は751万人に増加すると言われております。高度化・多様化するニーズに応えるためには人材を確保することに加えて同時に人材の質も高めていく必要があります。

人材の量と質を同時に確保するために既存職員の離職

防止や新規職員の採用促進、また労働条件・職場環境の改善や人材育成の体制強化など、更に限られた職員で多くの高齢者を支えるためには生産性向上に向け、最新の介護ICTやロボット導入や業務の効率化などに積極的に取り組んでまいります。

一方で昨年は施設運営においてコロナ禍で影響を受けていたイベントが本格的に再開されました。ご家族様との面会の再開、納涼祭・夏祭りの開催、クリスマスツリー点灯式、餅つき大会の開催等、ご利用者様は勿論、ご家族様・地域の皆様をお迎えして開催できたことを大変嬉しく思います。本年も引き続き感染対応を万全にしつつ開催できるようしてまいります。

本年も社会福祉法人ともいき福祉会は高齢者福祉サービスの安定的・継続的な提供と社会福祉事業に取り組んでいる事業者との連携・協働に取り組み、社会福祉事業を担うにふさわしい社会福祉法人としてより一層研鑽してまいります。

「共生(ともいき)」の心を大切に受け継ぎ、地域共生社会の実現に向けて職員一同努力してまいりますので、皆様におかれましては引き続きご支援、ご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

ご利用者様、職員、そして法人に携わる全ての皆様と「共生(ともいき)」の心を分かち合い、お互いを認め合い、お互いを助け合い、暮らしていきたいと思っております。そしてこれからも、皆様と共にあり続けたいと願っております。

本年も宜しくお願い致します。

犬山市長  
原 欣伸



## 犬山づくりで共生

あけましておめでとうございます。  
本年もみなさんにとって素晴らしい年になるよう心からご祈念申し上げます。

12月に「S.ONE Cup in ともいき」が開催されました。S.ONEは犬山を拠点に活動する3×3のプロバスケットボールチームです。

S.ONEと犬山市の出会い。わたしが「スポーツを使って」犬山の人はもちろん、他県や他国の人も呼び込んでスポーツによるひとつりやまちづくりで犬山を元気にしていきたいと考えていました。その時、S.ONEのみんなが、犬山市のプロチームになって、プロスポーツを身近に感じてもらい

たい。子どもたちがスポーツを「知る」「始める」きっかけにしたい。犬山市の夢や希望のシンボルになりたい。とアツい想いを語ってくれたのがご縁となりました。

そのS.ONEの想いに賛同して下さったのが、ともいき福祉会さんです。犬山で活動をスタートした時から全力応援いただいています。そして、「S.ONE Cup in ともいき」が開催されました。大いに盛り上がりました。プロから指導を受けた子どもたちはよき経験ができました。そしてみんなが元気になりました。

ともいき福祉会さんは、福祉のことばかりでなく、犬山のまちづくりにご一緒いただき、地域や犬山市に貢献くださっています。犬山市もともいき福祉会さんとともにみなさんの普通の暮らしが幸せであり元気になるよう共生していきます。本年もご指導よろしく申し上げます。

入居家族、職員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年はようやく納涼祭や夏祭り、イルミネーション点灯式など、入居者と家族が一緒になって楽しみ、触れ合うイベントも再開され、入居者の皆様に季節を感じていただく機会も増えました。

まだまだコロナ禍以前と同じというわけにはいきませんが、これもひとえに職員の皆様方の、日頃からの感染対策に対する心配り、気配りがあってのことと感謝申し上げます。

今年はさらに地域の方との交流行事などで、入居者の皆様に充実した一年を送っていただけるよう、ぬく森職員の皆様をお願いいたします。

最後となりましたが、皆様方のご健康とご多幸を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



2025年 巳年 新年あけましておめでとうございます。

本年も、皆様にとりまして、穏やかな佳き年となりますことを祈っております。

さて、新型コロナウイルス感染症で、世の中の時間が止まってしまってからやっと、昨年は、日常的な施設生活が戻ってきたことを、とても嬉しく思っております。

感染症には引き続き気を配りつつも、5年ぶりに開催した安戸町内会との合同夏祭りや、利用者さまとの外出・遠足、ボランティア様の活動、ご家族さまのお部屋での面会など、完全にとまではいえませんが、各々の再開は、モノクロの生活から七彩が戻ってきたような華やかさを感じました。何よりもまず、利用者さまの笑顔をたくさんお見受けできたことは、私たちスタッフ一同の何物にも代えがたい強いエネルギーとなりました。

世界でも日本でも、そんな当たり前の日常を、一瞬の内に壊されたり、取り戻すことができず、強い悲しみ・苦しみの最中で、生活している方々が多くいらっしゃいます。「日常」というこ

との尊さをかみしめながら、感謝の気持ちを持って、今年も利用者さまと共にできることを願っております。

特別養護老人ホームぬく森・第二が開設して、今年、満十年の年を迎えます。この羽黒・安戸の地で、地域の皆様に支えられながら、この記念の年を迎えられること、厚く御礼申し上げます。社会福祉施設の役割を考えた時、当施設がもっと地域資源として活用されるように、また、もっと地域福祉の発展に寄与できるようにと考え、昨年は、駐車場を利用した「S.ONE CUP」(3×3プロバスケットボールチームS.ONE主催)開催や、地域の介護職のスキルアップを目指して、「認知症介護実践者研修」を開講いたしました。福祉関係者だけではなく、幅広い年代の多くの皆さんが、当施設に足を運んでいただいたことが、施設としての大きな思い出と財産となりました。頑丈な施設は、時に、地域の皆様にご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、福祉避難所に指定されているように、災害時などいざというときに、安心・安全を確保できることもあります。これからも、ハード(建物・設備)もソフト(福祉専門職の知識・技術・価値)も、更に、地域福祉に貢献できるよう、十一年目も、一步一步着実に歩んで参ります。

本年もどうぞ、ご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。



あけましておめでとうございます。

2025年の幕開けにあたり、皆様に心からのご挨拶を申し上げます。2024年今年の漢字の「金」という漢字が象徴するように、輝きと価値、そして豊かさに満ちた一年でした。日頃よりご支援いただいている皆様に、心からの感謝の気持ちをお伝えいたします。

「金」という漢字は人間関係の豊かさをも表します。ともいき福祉会では、利用者様同士の交流や、ご家族様との絆を深めるためのイベントを開催してまいりました。5年ぶりに地域の皆様を招いての納涼祭、イルミネーション点灯式、年末にはもちつきなどのイベントを通して、利用者様とご家族様が一緒に楽しい時間を過ごす機会を提供できたのではないかと思います。これらの活動を通じて、利用者様がより豊かな生活を送ることができたのは、ご家族様はじめ皆様のご協力があったからこそです。

2025年も、私たちは「金」の輝きをさらに広げていきたいと思っております。新しい年が、成功と健康、豊かな人間関係、学びと成

長、そして希望に満ちたものでありますように。例えば、引き続き健康管理に力を入れ、利用者様が安心して過ごせる環境を整えてまいります。また、アクティビティやイベントを企画し、利用者様とご家族様が一緒に楽しめる機会を増やしていきたいと考えております。

さらに、オリンピックの精神を体現し、卓越した成果を追求しながら、友情と敬意を大切に一年となりますように。オリンピックは「卓越 (Excellence)」「友情 (Friendship)」「敬意 (Respect)」という3つの価値を大切にしています。これらの価値を日々の生活に取り入れ、前向きな気持ちで歩いていきたいと思っております。

最後に、皆様のご支援とご協力があったからこそ、私たちは利用者様に質の高いサービスを提供することができています。2025年も、皆様とともに歩み、より良い施設運営を目指してまいります。

2025年が皆様にとって、輝かしい一年となりますように。皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

# イルミネーション点灯式

令和6年11月17日(日)、特別養護老人ホームぬく森にて、イルミネーション点灯式が行われました。

施設のご利用者様や、面会にお越しいただいたご家族の皆様方などにクリスマス気分を楽しんでいただこうと、平成25年から毎年行われてきたクリスマスイルミネーションでしたが、令和元年の開催以降は、新型コロナウイルス感染症の流行により、やむなく中止をいたしておりましたので、今年は5年ぶりのイルミネーション点灯式となりました。

5代目にあたる今年のモミの木は、今夏の猛暑のため、形の良い木が従来の長野県では見つからず、群馬県から取り寄せて設置しました。

高さも7メートル近くあり、本館3階をご利用の皆様方にもイルミネーションを目の前でご覧いただけます。

点灯式前のミニコンサートでは、ユニット型特別養護老人ホームぬく森の介護副主任の太田くんによる三味線演奏、日本福祉大学アカベラサークルFigaroの皆様による歌唱と続き、会場は大盛り上がり。Figaroの皆様にはアンコール曲までお願いしてしまいました。

ミニコンサートのあと、時刻も午後5時となるとあたりもすっかり暗くなり、まずは点灯式に先立ち恒例のクリスマスケーキのお披露目です。

5年前と同じく、今年もプチローズ株式会社様に、ぬく介、ぬく実の立派なクリスマスケーキを作っていただきました。

点灯式には、各施設のご利用者様の代表とスペシャルゲストのわん丸くんにご登壇いただき、合図に合わせて一斉にスイッチON。

中庭のモミの木に電飾の灯がともると、大きな歓声と拍手で会場が満たされました。

点灯の後はジュースによる乾杯と、先ほどのぬく介・ぬく実のクリスマスケーキが振舞われ、短い間のひと時でしたが、ご利用者様やご家族の皆様方に、少し早いクリスマス気分を楽しんでいただきました。





イルミネーション  
点灯式会場



# クリスマス会

今年は皆様のご協力により、非常に賑やかなクリスマスシーズンを迎えることができました。イルミネーション点灯式も盛大に開催され、各事業所でも工夫を凝らしたパーティーが行われました。ご利用様がまるで子どもに戻ったかのように目を輝かせ、笑顔と歓声が溢れる素晴らしいイベントとなりました。2025年も、皆様と共に素敵なクリスマスを迎えられることを心より願っております。

特別養護老人ホーム  
めぐ森



ユニット型特別養護  
老人ホームめぐ森



特別養護老人ホーム  
めぐ森・第二



デイサービスセンター  
めぐ森



デイサービスセンター  
めぐ森・第二



# もちつき

年末恒例のともいきもちつき大会を開催しました。ご家族様にも多数参加していただき、楽しいひと時を過ごされていました。それぞれの施設で24升、6升、4升のもち米を職員はじめ、ご家族様、ご利用者様、子供たちがそれぞれ楽しくつき、あんこ餅、きなこ餅、さとう醤油でおいしくいただきました。ご利用者様の中には「もう一つ頂きたいわ!」とお代わりをされるご利用者様もみえ、おおいに盛り上がりました。皆様のご協力のもと、今年最後の行事を無事に終えることができ、職員一同ほっとしているところです。



## 橋爪山拠点



## 安戸拠点



# S.ONE CUP

IN ともいき福祉会

12月14日(土)、15日(日)の2日間、3 X 3 バスケットボールのプロチームAICHI S.ONEのチームイベント『2024 WINTER S.ONE CUP inともいき福祉会』が、養護老人ホームぬく森の駐車場において開催されました。

AICHI S.ONEは犬山を拠点とするプロバスケットチームで、『「バスケットボールを通じた地域貢献活動」・「地域愛をベースにした地域活動」で多くの方に笑顔と希望の花を咲かせ、みんなで満開の桜を作りあげる。』ことを活動目的にしています。

社会福祉法人ともいき福祉会もこの活動目的に賛同し、ともに地域(犬山)を盛り上げていこうという想いで、AICHI S.ONEのスポンサーとして協賛しています。

そのご縁もあり、S.ONE CUPを社会福祉法人ともいき福祉会で初開催させていただきました。

2日間とも、風が強く、気温も低い中ではありましたが、犬山市内外から、バスケットボールクラブの選手や子供たち、学校のバスケットボール部の選手たちが、白熱した試合を繰り広げました。

参加した選手の皆さんはもとより、華やかなチアパフォーマンスで盛り上げてくれた犬山市羽黒のダンススタジオSTUDIO L.L.Dの皆さん、たくさんのキッチンカーで身体とお腹を温めてくれた「よりよいマルシェ」の皆さん、とても寒い中、出場者や観客を熱い歌声で魅了してくれた愛知県出身のシンガー『kizuna』さん、ありがとうございました。

そして、ご多忙の中、2日とも応援の挨拶にお越しいただいた、原よしのぶ犬山市長、ありがとうございました。



12/15  
(日)



## ■ AICHI S.ONE 代表の佐藤様からのコメント



AICHI S.ONE 代表  
佐藤実寛 様

S.ONE CUP in ともいき福祉会へ参加した選手、関係者の皆様、そして会場へお越しになってくださった皆様、寒い中ご参加頂き誠にありがとうございました。

皆様の勇姿あるプレーで会場が盛り上がり素晴らしい時間を過ごすことができました。

また、様々なグルメスポットやたくさんの観光地がある犬山市にお越しいただける事に心から感謝しております。今後も3x3を通じて様々なイベントを開催していきたいと思っております。

是非、犬山市に足を運んでいただけたら幸いです。

犬山市を拠点に世界を目指す我々AICHI S.ONEの応援を是非、よろしくお願いいたします。

## 特別養護老人ホームぬく森

### お買い物会

本館では12月にお買い物会が行われました。

洋服や小物を熱心に選ばれていました。久しぶりにお洋服を自分で選ばれ、「この柄はいいわね」「もう少し落ち着いた色はない?」と目をキラキラさせていました。

お気に入りのネックウォーマーをつけ、「もうこれ私、はずさないから」と言われる方もいらっしゃいました。



## ユニット型特別養護老人ホームぬく森

### 喫茶外出

念願の喫茶外出でプリンを食べたときの幸せな表情、絵手紙レクに取り組んだときの真剣な表情、肌寒くなってきた11月に日向ぼっこで温まる至福の時間。12月のクリスマス会ではブーケ作りでわいわい盛り上がりました。月ごとの活動を通して、皆さんの笑顔と共に、素敵な思い出がたくさんできました。



## 特別養護老人ホームぬく森・第二

### 12月 日常

秋といえば、食欲の秋!ということで、各ユニットでは味覚を楽しむレクリエーションを行いました。大好評なのは炊き込みご飯。炊き上がる前から、ユニット内にはいい香りがしており、いつもより箸が進みました。紅葉外出では各務原の冬ソナストリートで色づいた銀杏並木を楽しんできました。近隣の散歩でも、稲刈りの終わった田んぼを眺めて、秋の終わりと一年の終わりを感ずることが出来ます。今年は少しずつ日常が戻り、皆さんの生活にも様々な彩りが感じられる一年になりました。



## ケアハウスハートフル

### 買い物・食事ツアー

久しぶりの買い物・お食事ツアーに行ってきました。

個人では皆さん行ったことがある『湯の華アイランド』へ、今回は皆さんと一緒に山のようなお買い物をしてきました。この辺りでは珍しい葉物野菜を見つけて買われていました。

お食事もしてきました。一番人気はやっぱりお刺身です。皆さんそろって「お腹いっぱいー!」と、笑顔でいっぱいになりました。





## デイサービスセンターぬく森

### イチョウ飾り作り

10月25日(金)イチョウの壁飾りを作りました。

最初に職員から貼り方の説明を行いました。あとはどの色をどのように貼るか、思い思いのデザインを考えて作成されていました。皆さん真剣な表情で「どんな風に貼っていこうか」と、頭を悩ませながら取り組むこと1時間…。すてきな作品が出来上がり、笑顔で記念撮影をすることができました。



## デイサービスセンターぬく森・第二

### 紅葉ツアー

11月下旬から12月初旬にかけて、デイサービスセンターぬく森・第二では桃太郎神社へ紅葉ツアーに行っていました。

この夏の猛暑の影響もあってか、イチョウやカエデの色づきも遅かったようでデイのツアー期間にちょうど見頃を迎え、木の芽田楽を召し上がりながら赤や黄色のコントラストに皆様酔いしれていらっしゃいました。



## ぬく森サロン・五郎丸

### 運動会

10月10日のサロンでは、以前の「体育の日」にちなんで、運動会イベントを行いました。

午前は昭和39年10月10日に開催された東京オリンピックの話で大盛り上がり。午後からは、紅白に分かれて帽子をかぶり、運動会を行いました。3種目ほどの競技があり、どの競技でも皆さんハッスルされていました。

最後は水分補給をしながら反省会を行い、「勝ち負けは関係ない。参加することに意味がある。」と話して見えました。楽しいひと時でした。



## 保育所ぬく森

### お散歩遠足

11月の心地いい気温の中、お散歩遠足に出かけました。公園につくと、みんなで楽しくおやつを食べ、ボール遊びをしたり、ブランコに乗ったりしてそれぞれ楽しんでいました。



# 介護施設の幸福度アッププロジェクト

11月15日(金)、愛知県立犬山総合高校2年生が、“介護施設の幸福度アッププロジェクト”の企画実践を行いました。今年度からスタートした『地域探求』授業にて、福祉を選択した生徒様とともに、人の幸せとは何か？を考えることから始まり、生徒様・入居者様・職員が交流する中で、施設のなかでの困りごと・入居者様の望み等課題分析を行い、ウェルビーイングを探求しました。生徒様の興味や関心に合わせ3チームに分かれ、

五感を刺激し季節感を  
味わえる喫茶店の運営

自作クイズゲームを制作し  
楽しみながら心身の健康状態を  
維持・向上できるような脳トレ

臨場感あふれる  
プロジェクションマッピング  
による屋内大花火大会

を実践しました。

自問自答や試行錯誤、更には多様な他者との協働のなかで、明確な答えのない“幸せ”という問いに、高校生ならではの視点で真剣に向き合ってくれたおかげで、実践日当日は施設にたくさんの笑顔が溢れ、幸せな時間を共有することができました。



## 新入職員紹介

職員一同頑張りますので宜しくお願いします。



事務員  
伊藤



保健師  
吉安



社会福祉士  
木下



介護士  
江口



運転手  
池田



●用務員 吉野

## ご協力ありがとうございました

令和6年9月1日～令和6年12月31日  
※敬称略・順不同

### ボランティアありがとう

吉田英翠  
移動美容室「ひまわり」  
まちネット大口おりひめ  
朗読クラブまどか

### 激励ありがとう

平田義治  
アカペラサークルFigaro

### 善意ありがとう

武藤慎一  
宗本大史郎  
村上敏治  
(福)犬山市社会福祉協議会城東支部  
(福)犬山市社会福祉協議会  
犬山市共同募金委員会  
犬山市老人クラブ連合会